

# BC-11AH-S1 説明書

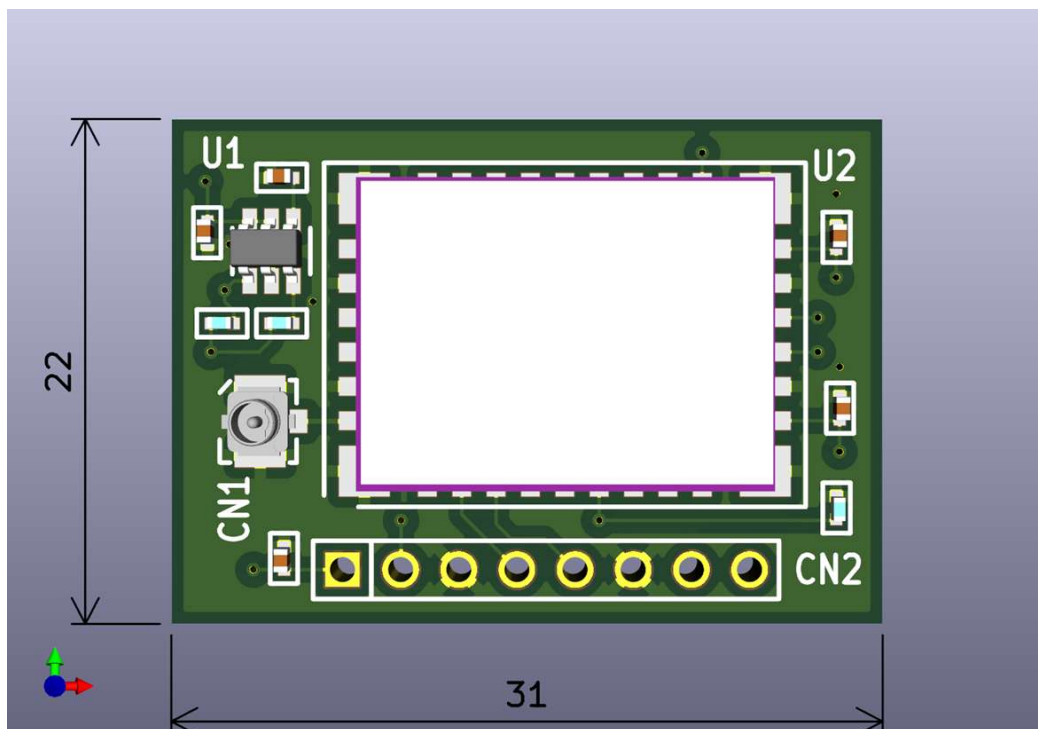
(株) ビート・クラフト

版	日付	担当	摘要
1	2025/10/10	ryuchi	新規作成開始
2	2025/11/12	ryuchi	CN2 のピンアサインについて追記 動作モードについて 補足して追記

1. はじめに  
本文書は、BC-11AH-S1 基板（以降 本基板 と記す）の説明用文書です。
2. 概略  
本基板は、IEEE802.11ah 無線規格に対応した ASKEY 社製モジュールを実装しており、UART0 または UART1 を経由して操作するための小型基板です。
3. 主な仕様  
本基板の基本的なスペックは下記の通りです。

材質	FR-4	
外形サイズ	31x22 mm	基板厚さ 1.6mm (部品高さを含まず)
層構成数	2 層	
取付用穴	なし	
質量		
電源電圧	3.3V	

本基板の外観イメージ図



※ CN2 のピン番号は、左側から割り振られています。左から 1 ～ 8 番ピンになります

#### 4. 各コネクタ・スイッチについて

本基板の各部のコネクタおよびスイッチの名称。機能は以下の通りです。

項	名称	機能・摘要
1	CN1	指定アンテナ接続用コネクタ
2	CN2	外部接続用 端子 (2.54mm ピッチ・未実装)

CN2 には、電源、起動モード、UART0 および UART1 の接続パッドがあります。  
2.54mm ピッチ 1 列 x 8 ピンのピンヘッダ等を実装することが出来ます。

#### ※ 注意

CN1 コネクタには、指定されたアンテナを接続してください。指定されたアンテナ以外を接続すると、認証の範囲から外れてしまいます。指定されたアンテナ以外を接続して日本国内で使用する場合には、改めて電波法関連の法令による技術基準適合の認定を受けるか、または無線局免許の交付を受けるなどの対応が必要になります。

#### 5. CN2 の使用について

CN2 は、電源、起動モード、UART0 および UART1 で通信するためのパッドが配置されています。ピン割り当ては、下記の通りです。

CN2 ピン割り当て表

No.	信号名	摘要	No.	信号名	摘要
1	3.3V	電源入力	2	MODE	起動モード設定
3	GND	GND	4	TXD	UART1 - TXD
5	RXD	UART1 - RXD	6	GND	GND
7	TXD	UART0 - TXD	8	RXD	UART0 - RXD

※ パッド形状が 四角のピンが 1 番ピンです。その他のパッドは 円形です。

電源入力は 単一電源 3.3V を 1 番ピン(正極)と 3 番および 6 番(負極)に接続してください。  
UART0, 1 の信号レベルは C-MOS 3.3V です。  
2 番ピンは、電源 3.3V (1 番ピン) と、ショートされるか、解放のいずれかで使用します。  
設定は、下記の通りです。

設定	動作モード	UG-7394-001-EVK 表記(参考)
3.3V	XIP mode	1: XIP mode
オープン	Host mode FW D/L	3: Host mode FW D/L

※ 1 版で ROM モードとしていた表記は、Newracom 社製 UG-7394-001-EVK User Guide (Ver 1.2 Aug. 04, 2025)に記載されている Mode Switch Jumper 表記にあわせ、Host mode FW D/L に変更しました。マニュアルの表記のみの修正です。

XIP mode は、モジュール内蔵の XIP に格納されたファームウェアを実行するモードです  
Host mode FW D/L は UART からファームウェアをダウンロードし、実行するモードです

UART0 および UART1 の入出力電圧レベルは 電源電圧(3.3V) と同一です。

以上